

仙人通信 201 沼津アルプス(392m)

沼津アルプスは駿河湾と狩野川に挟まれた山で、大平山・鷲頭山・徳倉山からなり、徳浦山は、象が鼻を伸ばした様に見える事から象山とも言われている。又大平山と徳浦山には三角点が置かれている。

沼津港に面した御用邸の前の駐車場に車を置き、江浦湾の多比までバスで移動した後、大平山→鷲頭山→小鷲頭山→志下山→徳浦山を廻り、徒歩で駐車場へ戻るコースとした。多肥のバス停からトンネル方向へ戻り、手前の十字路を山側に曲がりスタートである。民家やみかん畑を過ぎた地点にトイレが設置され、住民の暖かさを感じながら 30 分程進むとスイセンが咲き誇った Y 字路だ。右手に進むと頭上の岩屋に観音様が祀られ、神秘さを感じながらの登りである。10 分程で小峠と書かれた標識があり、ここから山の中のコースだ。緩やかな登山道を 10 分程登ると多比口峠で、大平山は右手に進む。登山道は、小さな岩を木の根が抱えた急な登りとなる。大きな檜の下には、赤い実を付けたアオキが視界を遮る。10 程登るとコースはなだらかとなり、10 分程で三角点のある山頂である。山頂は木々に覆われている為、江浦湾の先に淡島と大瀬崎までを確認する程度の展望だ。分岐まで戻り、ウバメガシで有名なコースを進む。稜線は、岩で覆われた狭く急斜面にはロープが張られている。6 コの小さなピークを過ぎて戸ヶ谷下降点で、山頂に向けかなりキツイ登りだ。15 分程で鷲頭神社(水害防止と豊作祈願)が祀られた山頂で、神社の前には、たわわに実った夏ミカンの木が 1 本植えられ印象的だ。眼下の狩野川の先には、三島の街並みや箱根の山脈が、反対側には駿河湾の上に浜石岳や竜爪山等の山脈が確認出来た。更に 10 分程で小鷲頭山山頂だ。中将岩までの 10 分はロープが離せない急な下りだ。(中将岩には祠があり、一の谷で負けた平重衡が鷲頭山のこの祠に逃げて隠れたとある) 駿河湾側が開けた熊笹のコースには、キララ展望台・奥駿河パノラマ台が設けられ、駿河湾の先に伊豆の山々だ。小鷲頭山から 35 分程で志下山山頂だ。志下坂峠を経て、35 分程で象の首の分岐である。ここからは象の頭である徳倉山に向け、ロープの張られた急な登りで、10 分足らずで山頂(二等三角点)である。愛鷹山は良く見えるも、富士山は裾野の雪以外は雲の中と残念・・・。

象の首の分岐まで戻り、香貫台団地まで真竹で作られた柵に沿って 25 分で下山後、更に 25 分程掛けて車のある御用邸まで戻った 4 時間半(18500 歩)の山旅でした。(r 2. 2. 4)

大平山

鷲頭山

鷲頭山と小鷲頭山

徳倉山

